保護者等向け

児童発達支援評価表 R4年11月。4名提出

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				部屋を使い分けのびのび活動している、広 い部屋も使用できている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4				OTが常勤になり嬉しい。新任の職員から子供の新たな一面が伺え新鮮。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4				利用しやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				整理されている。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画iiが作 成されているか	4				しっかり話を聞いた上、作成している。希望 を取り入れている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	4				
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	4				季節の制作、行事があり楽しい。色々な経 験ができる。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会があ るか	1	1	1	1	コロナで難しい。状況が良くなったら行って 欲しい。
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	4				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	3		1		対象外の為(いいえの回答に対して)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4				連絡帳、口頭で伝達し合えている。たまに 記入漏れがある。日々写真ももらえて様子 がわかり嬉しい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	4				適切なアドバイスがある。面談があり、家で の様子や施設での様子を伝え合っている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	4				保護者会や行事で関わりがある。配慮して もらえている。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や申 入れをした際に迅速かつ適切に対応されて いるか	4				給食が始まりありがたい。OTが入ったことがとても大きい。その都度してもらい事等、対応してもらえている。(水分、リハ、遅刻、早退等)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	4				子供の気分に合わせて活動や食事をしてくれている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	4				お便り、HPを見る事が楽しい。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されているか。また、発生を想定 した訓練が実施されているか	4				伝言ダイヤルの練習等をしてくれている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	4				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4				家にいるより楽しそう。職員、友達に会えると嬉し そう。ひまわりの話になるだけで嬉しそう。
	23	事業所の支援に満足しているか	4				期待以上の支援をしてもらえている。

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

〇 この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「〇」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。